

技術に翔る

点検支援の新技术を活用

北陸地方整備局北陸技術事務所から受託した平成30年度富山・石川県内橋梁点検等業務で2018年度完成優良委託業務事務所長表彰を受賞した。管理技術者として携わった自身も優良建設技術者（事務所長表彰）に輝き、「関係者全員の努力が報われ、大変うれしく思います。今後もお「くることなく社会資本整備に携わっていききたいと思います」と謝意を表す。

法定点検として5年に1回、近接目視点検を行うこと

大日本コンサルタント北陸支社技術部構造保全計画室主幹

喜多 亮輔氏



となり、18年度は最終年度の点検として209橋を定期点検（第三者予防措置含む）で実施。損傷と変状を早期発見し、効果的な維持管理に必要な基礎資料の作成に取り組んだ。

人が容易に近づけない箇所

にドローンや橋梁点検カメラシステムといった新技术を活用することで、「点検支援技術の有効性を検証することも、今後改良すべき課題を業務の現場で確認することができた」と振り返る。

現場作業が多いこともあり、熱中症を始めとする労働災害や交通規制による事故を防止するため、過去の教訓を基にさまざまな安全対策を講じた。「表彰された際には発注者から「建設現場なみの対応ですね」との感想もいただいた」と意気込む。

「弊社でも飛行型ロボットを用いた点検支援技術の開発には早い段階から取り組んでおり、これからも実務経験を基に点検支援技術の推進に努

いた」という。